



東京都立鹿本学園 学校通信 令和2年5月28日号

学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 庄司 伸哉

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

鹿本学園の新型コロナウイルス対策

5月末まで臨時休業が延長されました。一日も早い再開を願っているのは子供たちも教職員も一緒です。保護者の皆様方には大規模併置校である鹿本学園に来ること自体が感染の危険性を高めることを御理解いただき、ありがとうございます。真にやむを得ない場合に限った日中の預かり児童・生徒数は毎日数名という状況を保っております。さて、休業中に学校はどんなことをしていたのか？6月からの学校再開に向けての準備状況は？といった皆様方の疑問にお答えします。

鹿本学園には230名を超える教職員が勤務しています。この教職員を自宅勤務に振り分け、校内の3密状態をなくし、感染を防止しなければなりません。そこで4月8日から個人端末(PC)を持ち帰り、テレワークを本格的に実施しました。4月10日からは遠隔会議ソフトSkype(スカイプ)を使った職員朝会を開始。学年会や分掌会議などもSkypeを活用しています。しかし、経営企画室は業務の特性上自宅勤務が難しく、職員同士の感染防止のため向かい合った執務机の間に飛散防止用の透明な衝立を設置しました。配送等で訪れる業者の方の手指消毒と検温も実施しています。

教員の自宅勤務を進める一方、でまだ職員室には毎日50名以上が狭い範囲に座っています。この状態を解消するため、職員室内の学校介護職員の座席を活用し、他にもS棟2階の教室等も、教員の臨時執務室にして密集状態を解消しました。

また、学校再開前に遠隔授業を実施するための準備を進めました。家庭と学校間で安定した通信ができるか複数の機器や通信アプリを試し、限られた通信環境を活用するための授業時間割の調整など多くの課題を乗り越えてきまし

た。ぜひ授業の感想をお聞かせください。

学校再開後の準備も進めてまいりました。教職員と児童・生徒の間で感染が心配されるのが水泳指導と給食指導の場面です。水泳指導については中止するように東京都教育委員会から指示がありましたが、給食をやめることはできません。しかし、教職員がマスクを掛けていても食事時の咳やくしゃみ等で目に飛沫が入る恐れがあります。また、発音や発声の指導場面では教員がマスクを掛けていても児童・生徒が学べません。そこで休業中に教職員がフェイスシールドを作成しました。保護者の皆様には感染防止の見地から教職員のフェイスシールド着用にご理解いただきたくお願い申し上げます。

心温まる御支援ありがとうございました！

前号では、競技用車いすのプレゼントを紹介しましたが、今回も心温まるプレゼントを頂戴しましたので紹介します。

N小5のお母様から手作りのマスクを30枚頂戴しました。5月の連休中にお子様と一緒に作ったそうです。また、鹿本学園卒業生のお母様の御友人からも手作りのマスクを頂戴しました。皆様の心遣いに感動しました！

4月27日、学校に大きな箱が届きました。送り主は日華議員懇談会様。手紙をみると、台湾政府から200万枚寄贈されたマスクを全国の特別支援学校に届けているとのこと。本校には2400枚届きました。また、江戸川区を通じて匿名の篤志家からマスク3500枚、消毒用アルコール50ℓを頂戴しました。教職員もマスクが入手できず困っていたところです。休業中に校内で勤務する教職員のために使わせていただいております。数多くの御支援に感謝いたします。本当にありがとうございました！

鹿本学園校長 庄司 伸哉

副校長からの挨拶

「副校長着任の御挨拶」

副校長 田島 昭美 (S部門 小学部・中学部担当)

この度、5月1日付で、都立八王子西特別支援学校より、副校長として昇任・着任をいたしました、田島昭美 (たじまてるみ) と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は、肢体不自由特別支援学校と知的障害特別支援学校での勤務経験があり、共に高等部で指導してきました。本校の学校経営計画にもありますように、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する教育を推進してまいります。

着任当日以降も、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、学校は臨時休業ですが、児童・生徒及び教職員の安全の確保をしながら、学習の保障や緊急事態宣言の解除後の学校再開に向けて、教職員全員で取り組んでおります。Zoom を活用したオンライン授業、学習動画の視聴等で、普段とは違う学習を楽しんでもらえたらと思っております。

1日でも早く事態が収束し、児童・生徒の皆さんや保護者の皆様にお会いできるのを心待ちにしております。

主幹教諭・指導教諭からの挨拶

◇ 統括主幹教諭

田中 大輔

SNの部門を超えて、学校全体を広く見渡す立場となりました。今年度は学校における全ての活動が、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなります。その状況下で106学級、455名の児童・生徒の教育活動、学校生活を適切な形態、方法で、円滑、安全に行うために主幹教諭、指導教諭間の連携を深められようとしています。

◇ S部門小学部担当主幹教諭 (情報メディア部)

増山 陽介

S部門小学部と情報メディア部を担当いたします。S小学部では4つの力「心身ともに健やかに過ごす力」「好きなことを増やし、学ぶ力」「気持ちや要求を表す力」「人と豊かに関わる力」を育てることを大切にしています。楽しく学校生活を過ごす中でたくさん成長していきましょう。情報メディア部ではホームページ、Facebook の更新や、児童・生徒の皆さんが楽しく学習できる ICT 機器の活用を提案していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◇ S部門小学部担当指導教諭 (研究育成部)

矢野 祐子

今年度は、研究育成部を担当いたします。S部門小学部の所属ではありますが、部門や学部に関係なく、鹿本学園の児童・生徒の皆さんが毎日楽しく充実した学びを積み重ねることができるよう、より良い授業づくりを目指し、教職員一同力を合わせて臨んで参ります。また指導教諭として、外部専門家の先生方と連携を図りつつ、様々な学部で授業を見させていただく機会も多くあると思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

◇ S部門中学部担当主幹教諭（学校介護職員・外部専門家担当） 江藤 佑

S部門中学部と学校介護職員・外部専門家を担当いたします。S 中学部では、小集団の学部である特性を生かしつつ、小学部で培った力を更に伸ばし高等部等への進路指導につなげるよう、学部教職員が一致団結し、全生徒の指導・支援を行ってまいります。学校介護職員・外部専門家との連携についても、感染症対策を万全に整えた上、進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

◇ S 部門 高等部 担当主幹教諭（生活指導部） 鈴木 淳志

今年度から、鹿本学園に着任いたしました。S部門高等部と生活指導部を担当いたします。これからの未来に向け、経験の幅をさらに広げられるよう支援してまいります。日々の学習を通じ、様々なことにチャレンジしていきましょう。生活指導部主任として、学校生活での様々な場面における安全管理の基盤を固め、児童・生徒の皆さんが安心して学べる学校を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

◇ S 部門 高等部 担当主幹教諭（保健給食部） 大陽 久美子

昨年度までN部門中学部でしたが、今年度よりS部門高等部、保健給食部を担当することになりました。私自身、肢体不自由教育部門高等部で教員をした経験があり、教室を回ると懐かしい思いがします。これまで築きあげた伝統を伝承し、より良い進路決定ができるよう支援してまいります。また、皆様に安心していただける保健室や給食の運営と実現に努め、全校で連携を図りながら、より良い方向性を探ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

◇ N 部門 小学部 担当主幹教諭（サポートデスク） 窪野 久美子

N小とサポートデスク（教育相談・地域支援・進路指導）を担当します。N小は1年生26名と転入生2名を迎え186名になりました。伸びゆくお子様を教員一丸となって支えています。サポートデスクは、レインボーファイルを活用して在校生と地域資源との連携を図っています。計画相談の相談支援専門員さんと積極的に連携しています。困ったときは担任の先生を通してお声かけください。

◇ N 部門 中学部 担当主幹教諭（教務部） 五十嵐 美雄

S部門の中学部からN部門の中学部に移りました。新たな気持ちで様々なことに挑戦していきたいと思っております。生活指導部から教務部になりました。新型コロナウイルス感染症への対応について、児童・生徒の皆さんの学習を支えるために何ができるか常に考えて取り組んでいきます。保護者の皆様にも御協力いただくことが多いと思いますが、よろしくお願いいたします。

◇ N 部門 中学部 担当主幹教諭（リクルーティング教育担当） 小野寺 拓

N部門中学部では、生徒一人一人が主体性をもって、日々の学習やソーシャルスキルの向上に取り組んでいけるよう、学部一丸となり、指導にあたってまいります。また、高等部進学を含め、生徒の皆さんが自己の将来に見通しをもてるようになるとともに、社会参加・自立に向けて大きく羽ばたいていけるような進路指導、キャリア教育も行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

※ 各部門の月予定表は、予定変更の可能性があるため、今月号では掲載をしておりません。

まち comi 等での連絡や、ホームページでお知らせいたします。

